



◆示現会の巡回新潟展を開催

10月28日から「第76回示現会展―巡回新潟展並びに新潟県支部展」を開催いたします（11月5日まで）。今年4月に東京国立新美術館で開催された第76回示現会展の巡回展で、会員・会友の作品の中から30点と新潟県支部会員作品31点が展示されます。中には、文部科学大臣賞の徳田則子「緑の中で」や示現会賞の吉塚春生「母子像を仰ぐ娘」のほか、受賞作品も含まれます。

示現会は昭和22年創立で、現在は850名以上の会員がいる日本有数の美術団体です。



成田禎介「高原」(F120)

支部も全国にあり、新潟県支部は現在33名が所属し活発に活動されています（今回支部展に出展するのは31名）。写実を会の理念の中心に据えており、流行にとらわれない格調高い作品が見どころと思います。

また、11月11日から12月10日まで収蔵品展として当館で所蔵している名品の数々を展示しますので、ぜひご来館ください。

（広田かおり）

◆LED化工事のお知らせ

美術館のエントランスホールから景色を眺めていると秋空が高く澄み渡り、爽やかな気分を満喫できて癒されています。

館内のLED化工事のため、12月11日（月）から美術館を臨時休館いたします。エントランスホールと企画展示室、スポーツ文化展示室が変わります。

LED化工事が決まった時には、電気料が削減できるとか、高い脚立に登って電球を交換しなくすむなど単純に喜んでいました。しかし、打ち合わせが始まると、何気なく見ていた照明の種類が多さに改めて驚きました。見えているものだけではなく間接照明もあり、決めることの多さにビックリです。

光の色や角度、強さ、作品の見え方、器具の形や色など細かく見ます。特に芸芸員の思いが強く、美術館としてお客様が快適に鑑賞できるようにこだわるところに、打ち合わせに要する時間が増えるばかりでした。新年にご来館の際は、展示作品同様に、照明も見上げて見てください。

（佐藤良子）

◆産地直送！

長く、暑い夏が終わり一気に涼しくなりました。秋の気配を感じます。一年があつという間に感じるのは私だけかもしれません。今年も実りの秋、収穫の秋、そして食欲の秋がやってきました。黄金色の田んぼが一面に広がっていました。次々と稲が刈り取られていきました。イケビでは新米・南魚沼産コシヒカリ『ベーマガ米―体心技―』を予約販売いたします。

このお米はベースボール・マガジン社が体と心、そして技術向上をサポートしたいという想いで、地元農家と共同生産している極上米です。厳選米と通常米の二種類になり、厳選米は魚沼産コシヒカリのブランドの中でも南魚沼「塩沢産コシヒカリ」となっていて、特に美味しいと評価され、頂点を極めた最高峰の逸品です。玄米調整を行う中で、より大きな粒のお米を選んでいるので、ご自宅用としてはもちろんですが、ご贈答用としてもご利用いただける自慢のお米です。

新米のお届け時期は11月中旬より随時発送予定となっております。ぜひ、この機会にご賞味ください。ご予約は美術館までお願いいたします。

（山口加奈子）

◆秋の公園を彩る風ぐるま



今年の夏の厳しさには参りました。八海山麓スキー場に風ぐるま3000本を設置するための紐張り作業や草むら迷路の草刈りなど、一日にベットボトルを何本空けたことか。それでも、炎天下の設営当日には幼児から高校生、地元の方々まで、老いも若きも80人ほどの人たちが集まってくれて、短時間で完了することができ、大助かりでした。差し入れの八色スイカが美味くて生き返りました。

その風ぐるまですが、8月下旬に撤去したあと、しばらく倉庫に保管。八色の森公園で「市民まつり」が4年ぶりにコロナ禍以前の賑わいで開催されると聞き、美術館から見て池の反対側（八海山の方向）、きれいに芝刈りされた丘一面に飾り付けることにしました。近所の国際情報高校の生徒14名が協力してくれて、釣瓶落としの秋の放課後、真っ暗になるまで元気がいっぱい、楽しそうに作業をしてくれました。本数は約1000本です。星やハートの形まであり、エントランスホールから眺望すると、金色の風ぐるまが秋の日差しにキラキラと輝いていました。

（高橋良一）

《池田記念美術館一展覧会・イベント情報》

■第76回示現会展—巡回新潟展並びに新潟県支部展

◎会期：10月28日(土)～11月5日(日)

絵画団体・示現会の巡回展。東京で開催された第76回示現会展の会員・会友を中心とした全国巡回作品30点と、新潟県支部会員の作品31点、合わせて61点を展示します。

【解説会】

10月28日(土) 9:30～

解説：示現会常務理事 錦織重治(日展会員)

■巡回展出品者

石橋俊博(東京)／井上 武(千葉)／大塚美和子(福岡)／大淵繁樹(神奈川)／鎌田雅臣(熊本)／川崎 猛(新潟)／小材啓治(熊本)／小島兼一(愛知)／小林年子(埼玉)／佐藤祐治(神奈川)／篠原裕輔(福岡)／相馬賢二(青森)／高見雅博(兵庫)／武 敏夫(東京)／土田恒夫(千葉)／遠山厚史(埼玉)／徳田則子(千葉)／内木健二(岐阜)／内藤利博(福井)／中川澄子(東京)／中西 敦(神奈川)／成田禎介(神奈川)／錦織重治(神奈川)／原田一裕(山形)／松川伸一(神奈川)／松本 隆(石川)／三杉和子(東京)／宮定真弓(千葉)／山岸深志(長野)／吉塚春生(石川)

■新潟県支部展出品者

阿部直義(阿賀野)／井浦勝之(阿賀野)／石田登喜(三条)／岩野弘一(南魚沼)／大木研一(新潟)／長田泰助(長岡)／小野山輝男(三条)／木口操志朗(三条)／小玉誠司(長岡)／酒井昭輝(魚沼)／桜井広文(魚沼)／佐藤悌二(魚沼)／佐藤守弘(魚沼)／佐藤芳子(長岡)／渋谷富士夫(燕)／白井のり子(新潟)／関 明一(小千谷)／高橋正則(魚沼)／滝澤 治(魚沼)／田崎 弘(長岡)／富田潤二(新潟)／野上久栄(新潟)／行方 洋子(南魚沼)／長谷川欣吾(三条)／星野正治(魚沼)／星野登喜治(小千谷)／松原 孝(魚沼)／柳瀬 拓(長岡)／横山あつ子(新潟)／吉井秀夫(五泉)／若井茂雄(五泉)

《今後の展覧会》

■池田記念美術館収蔵品展

◎会期：11月11日(土)～12月10日(日)

当館の池田恒雄コレクションの中に「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」という川端康成の一節を書にした掛け軸があります。池田が出版人ということもあり、武者小路実篤、永井荷風などの書や書簡も含まれています。今回の収蔵品展ではそれらを中心に展示します。■主な展示作家■川端康成／幸田露伴／島崎藤村／相馬御風／坪内逍遙／永井荷風／武者小路実篤／吉川英治／ほか

■南魚沼郡市児童生徒美術展

◎会期：2024年1月6日(土)～1月16日(火)

南魚沼市と湯沢町の子どもたちの作品約400点を展示します。入館料は無料となります。会期中、大人気の「雪見展」と「一箱古本市」を開催します。

■スポーツ&ライフ南魚沼「文化教室」→詳細は美術館へお問合せください。

- 美文字講座—基本の書道(全3回) 講師：富所白象さん(書道家)
- 美文字講座—筆ペン(全3回) 講師：富所白象さん(書道家)
- エアロ&ヨガ(全8回) 講師：高橋みゆきさん(Happy エアロビクス南魚沼)

■10月、11月、12月の休館日

【10月】

4日、11日、18日 定休日
23日～27日 展示替え休館日

【11月】

1日 定休日
6日～10日 展示替え休館日
15日、22日、29日 定休日

【12月】

6日 定休日
11日～26日 臨時休館日
27日～1月5日 年末年始休館日

■臨時休館のお知らせ

館内のLED化工事のため、以下の期間を臨時休館といたします。

期 間：12月11日(月)
～12月26日(火)

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00(入館受付は16:30まで)

【休館日】毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替えによる臨時休館

【入館料】一般 500円 高校生以下無料(団体割引、各種割引あります)

【ホームページ】<http://www.ikedarta.jp>

公園の中の美術館

池田記念美術館



アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分
関越自動車道大和スマートI.Cより車3分
六日町I.Cより車15分、小出I.Cより車10分